



# 設置ガイド

Cisco TelePresence MX700 デュアル カメラ  
自立式フロア スタンドまたは壁面固定フロア スタンド

このガイドでは、自立式または壁面固定のいずれかの構成によるデュアル カメラ付きフロア スタンド取り付けの MX700 について説明します。



自立式フロア スタンド



壁面固定フロア スタンド

## 作業者数



システムの取り付け作業は 3 人で行うことを推奨します。地域の規制に従ってください。

## 寸法

高さ: 1631 mm (64.3 インチ)

幅: 2517 mm (99.1 インチ)

奥行: 156 mm (6.2 インチ) または 215 mm (8.5 インチ)  
(壁面固定)

920 mm (36.3 インチ) (自立式)

重量: 156 kg (344 ポンド)

## ルーム設定

オフィスや会議室をビデオ会議用に整備する際にヒントを得たり、ガイドラインを確認したりするには、Cisco Project Workplace (<http://www.cisco.com/go/projectworkplace>) をご覧ください。



## 資料

Cisco Spark: Spark 登録済み会議室システムの詳細については、Cisco Spark のヘルプ サイト (<http://help.ciscospark.com>) にアクセスしてください。

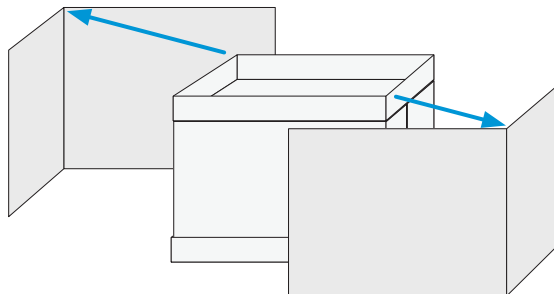




他のサービス: ビデオ システムのユーザ ガイドとコンプライアンスおよび安全性に関する情報を確認するには、シスコ Web サイト (<http://www.cisco.com/go/mx-docs>) にアクセスしてください。



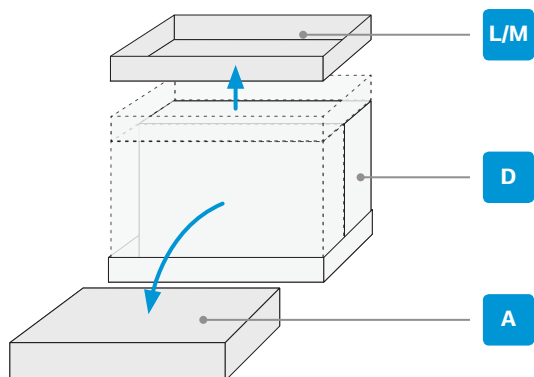
## パッケージ

- 1 プラスチックのスナップ式ロックを開き、側面を取り外します。



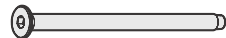




- A ... M** ボックスには、このガイドで使用する A から M までのラベルが付いています。
-  **B+E-G** 中にあるボックスを示します。
-  工具とネジがこのボックスに入っています。

- 2 ボックス L/M を取り外します。ボックス A を床に平に置き、ふたを取り外します。



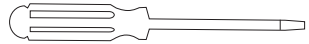


## ネジ

すべての取り付けオプションで同じキットが同梱されるため、ネジ キットには必要数より多くのネジが含まれています。

	M6x90、さら 工具:アレン キー、4 mm
	M6x35、さら 工具:アレン キー、4 mm
	M6x12、なべ 工具:アレン キー、4 mm
	M6x12、さら 工具:アレン キー、4 mm
	PT4x10、なべ 工具:トルクス T20
	M4 X 8、なべ 工具:アレン キー、2.5 mm

## ツール

	● アレン キー、4 mm
	● アレン キー、2.5 mm
	★ トルクス T20

## EMC クラス A 適合宣言

警告:本製品はクラス A 製品です。国内環境で本製品を使用すると、電波障害を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザが十分な対策を講じるように求められることがあります。

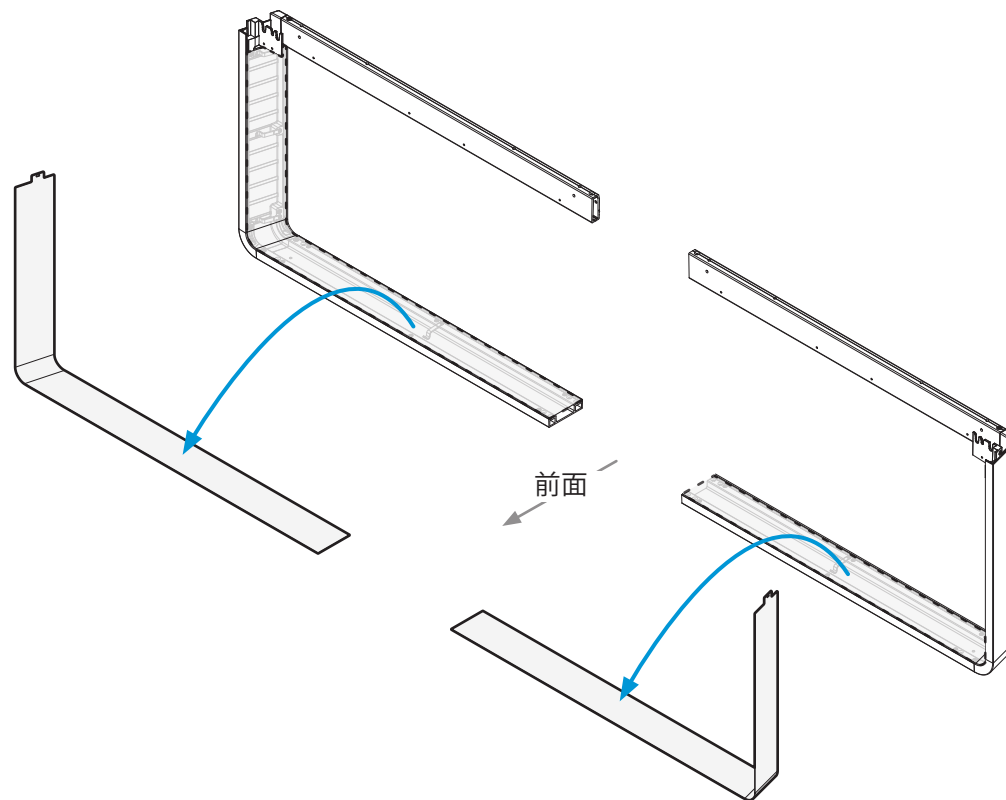
### 声明

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

# 1 フロア スタンド パーツからカバーを外す



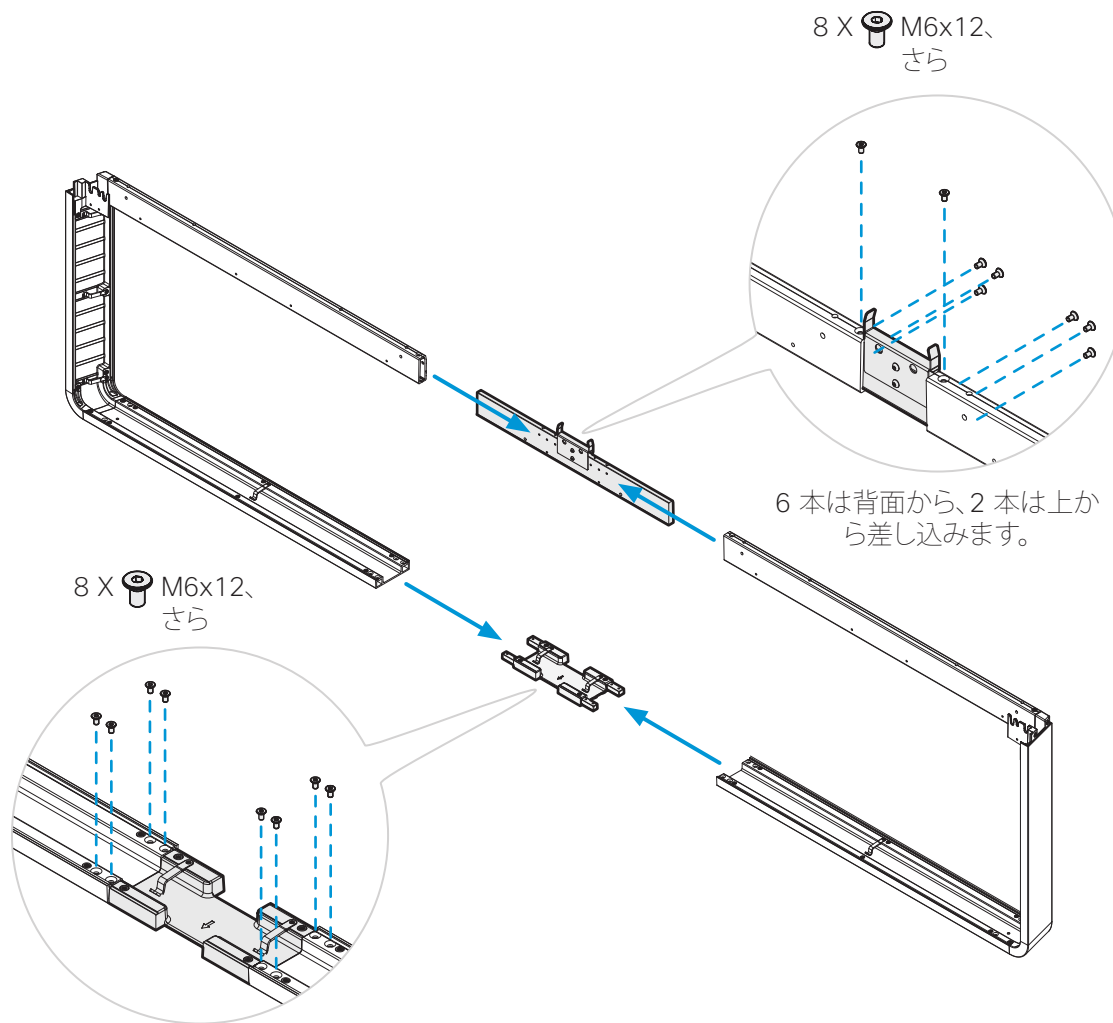
カバーを一旦外します。カバーは、システムの組み立てとテストが完了したら再度取り付けます(手順 20)。



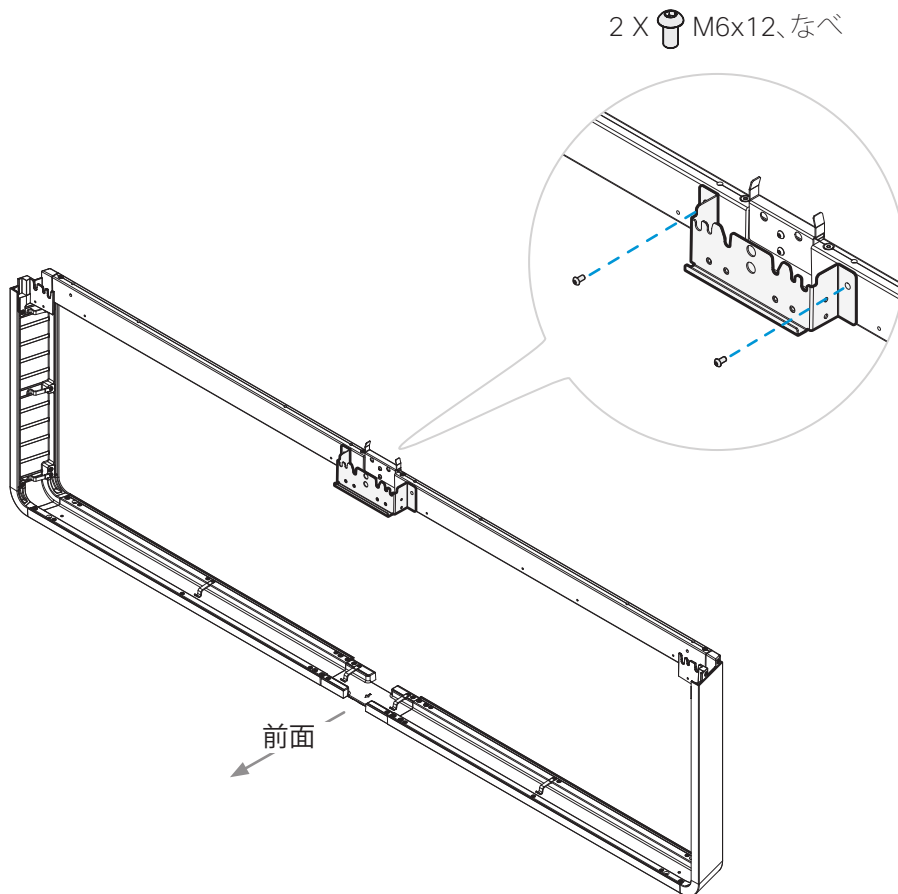
## 2 フロア スタンドの組み立て



上下の中央部品を、同時に片側ずつ順にネジ留めします。

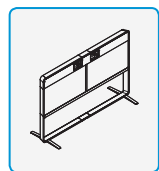


# 3 中央ブラケットの固定



# 4

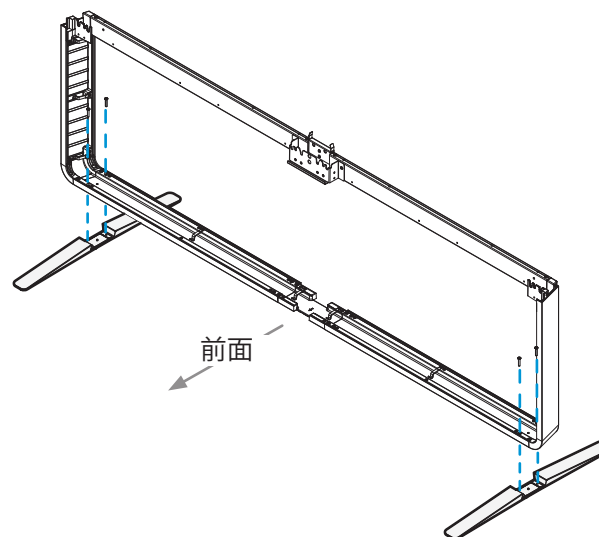
## フロア スタンドの固定



オプション A:  
自立できるようにフロア スタンドに脚を取り付けます。

オプション B (壁面固定) は次のページで説明します。

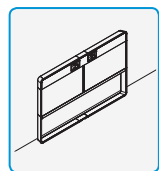
4 X  M6x35、  
さら





## 4

## フロア スタンドの固定



## オプション B:

フロア スタンドを壁面に固定するために付属の壁面用ブラケットを使用します。

オプション A (脚の取り付けによる自立) は、前のページで説明しています。



システムは、国と地域の建物に関する規制に従って、有資格者が設置する必要があります。

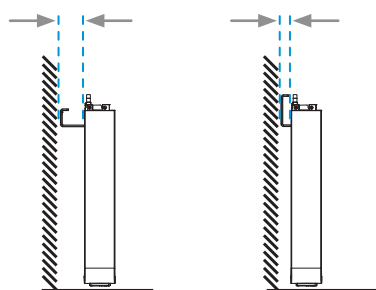
壁および取り付け金具は製品を安全に支える必要があります。

1

壁面用ブラケットには、取り付け位置が 2 箇所あります。

会議室に最適な方法でブラケットを配置します。

94 mm (3.70 インチ) 37 mm (1.46 インチ)



側面図

2

フロア スタンドを固定せずに壁面用ブラケットに配置します。フロア スタンドと壁面用ブラケットを位置に移動します。



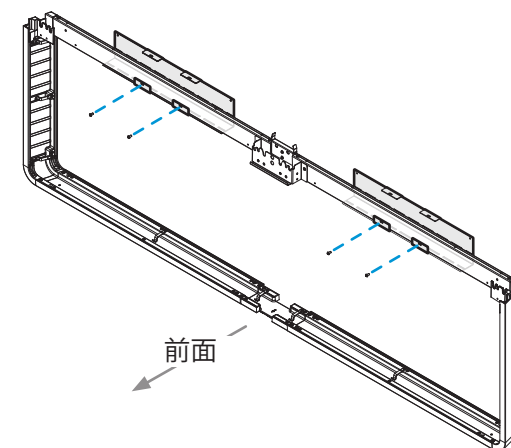
壁面用ブラケットは、どの水平スロットでも固定できます。壁に必要なネジ穴の位置をマークします。

安全な方法で各壁面用ブラケットを固定し、壁の構造物がシステムを十分に支持できるようにします (ネジおよび取り付け金具は付属しておらず、図に示されていません)。

3

4 本のネジ (付属) を使用して、フロア スタンドを壁面用ブラケットに固定します。

4 X M6x12 (なべ)



# 5 モニタ取り付け前の注意



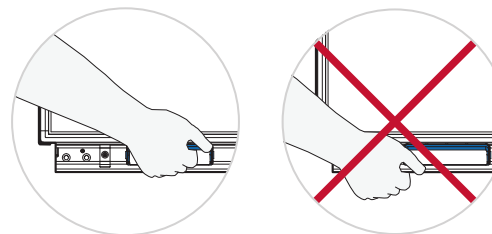
## モニタは重量物です

モニタの取り付け作業は 3 人で行うことを推奨します。2 人は、このページで説明する持ち手を使ってモニタを持ち上げます。もう 1 人は、モニタが倒れないように支え、モニタが正しくスロットに入っていることを確認する必要があります。

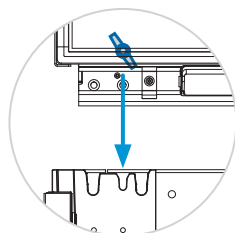


## 持ち上げ用のハンドルを使用してください

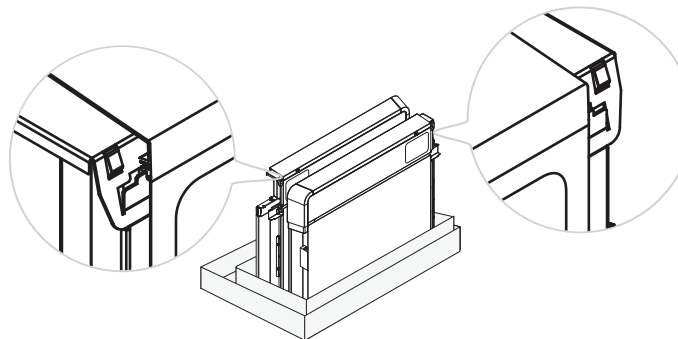
指が挟まれないように、モニタ底部にある持ち手を使用してください。



モニタ側から確認できる蝶ナット付きのネジは下部フレームの両側の中央スロットに入れる必要があります。



システムを壁面に固定する場合: カメラを自由に動かせるようにするため、上側プロファイル背面のカメラに近いところにある 2 つのつまみを締めてください。



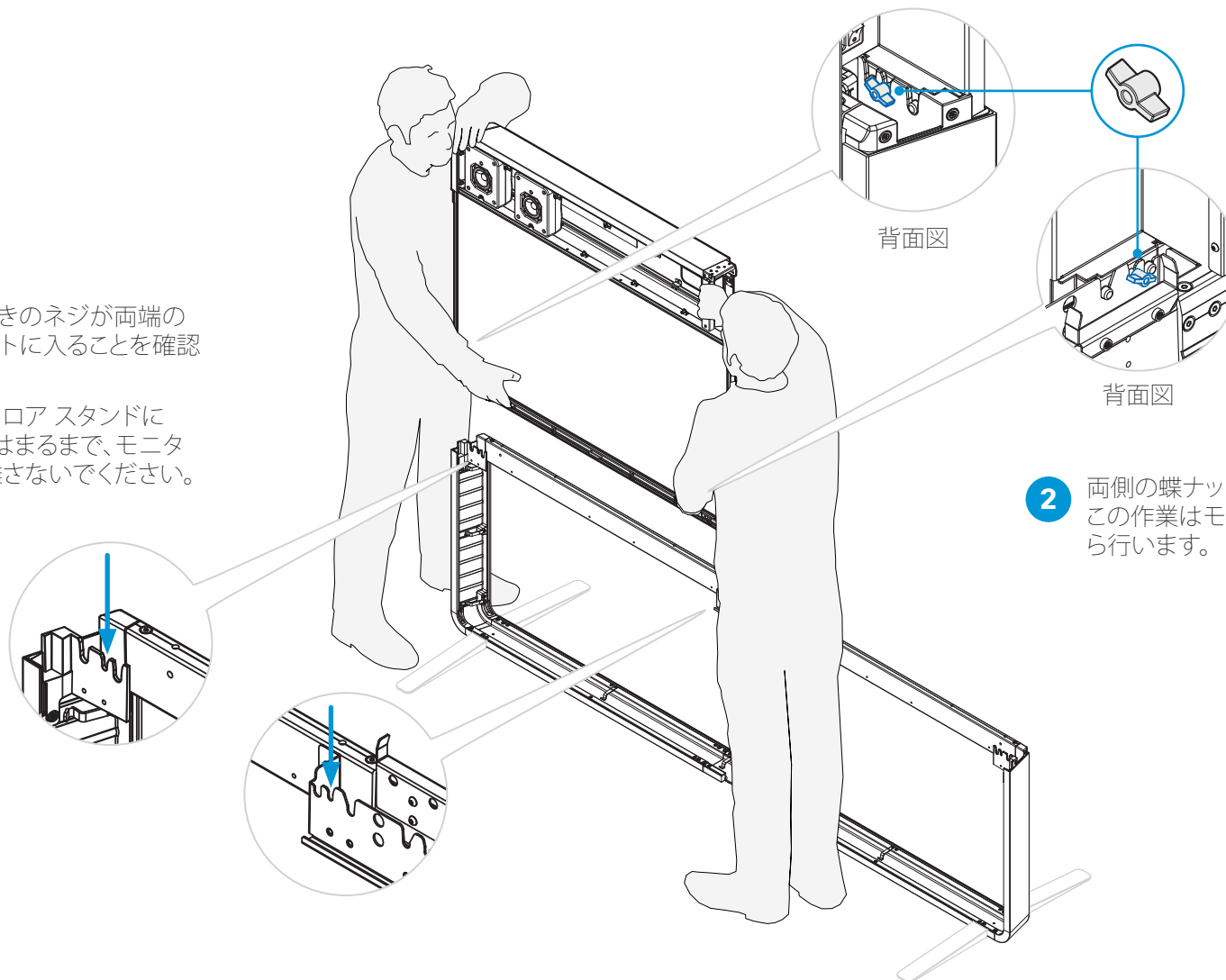
# 6 左モニタを持ち上げてフロア スタンドに乗せる



65 kg (144 ポンド)

- 1 蝶ナット付きのネジが両端の中央スロットに入ることを確認します。

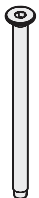
モニタがフロア スタンドにしっかりとハマるまで、モニタから手を離さないでください。



- 2 両側の蝶ナットを締めます。この作業はモニタの側面から行います。

# 7 左モニタのフロア スタンドへの固定と電源ケーブルの接続

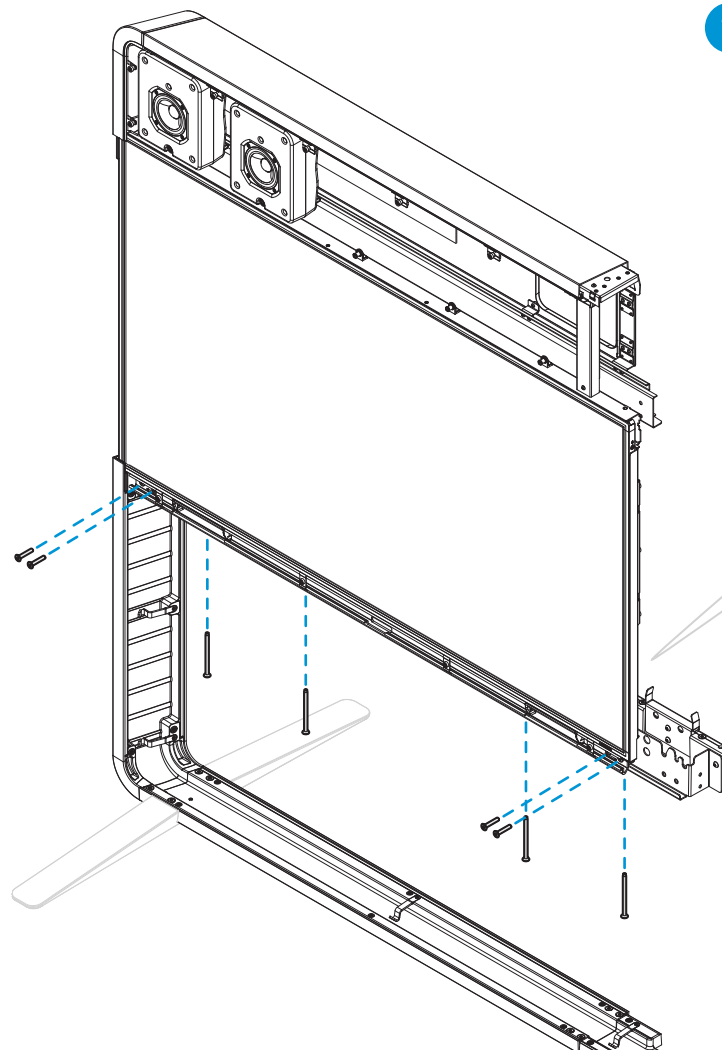
4 X M6x90、  
さら



4 X M6x35、  
さら



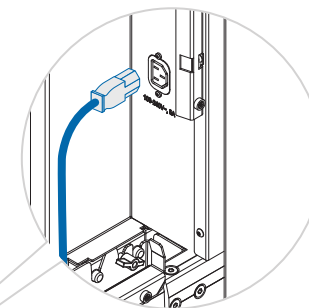
**1** 前面から 4 本のネジ、下から 4 本のネジを挿入します。次に、すべてのネジを締めます。



**2** 電源ケーブルの接続

電源ケーブルはモニタの背面に結び付けられています。電源ケーブルを近くのソケットに接続します。

もう一方の端はまだ接続しません。これは手順 9 で右モニタに接続します。



## 8

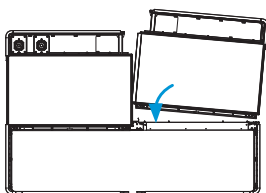
## 右モニタを持ち上げてフロア スタンドに乗せる



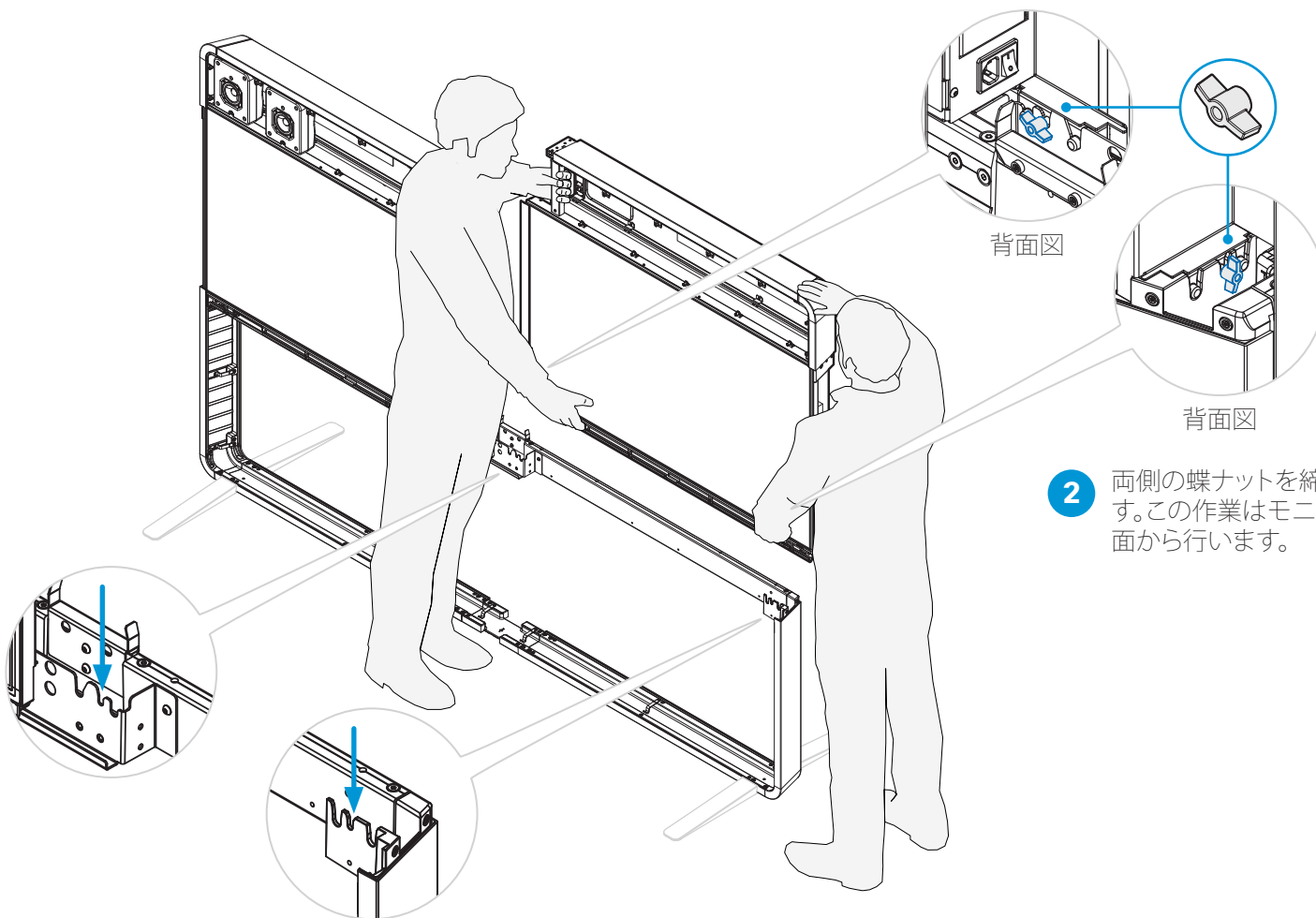
65 kg (144 ポンド)

- 1** 蝶ナット付きのネジが両端の中央スロットに入ることを確認します。

フロア スタンドにモニタを下ろす際は、外側を他方のモニタ側よりも少し下げた状態にします。



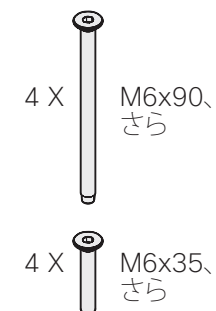
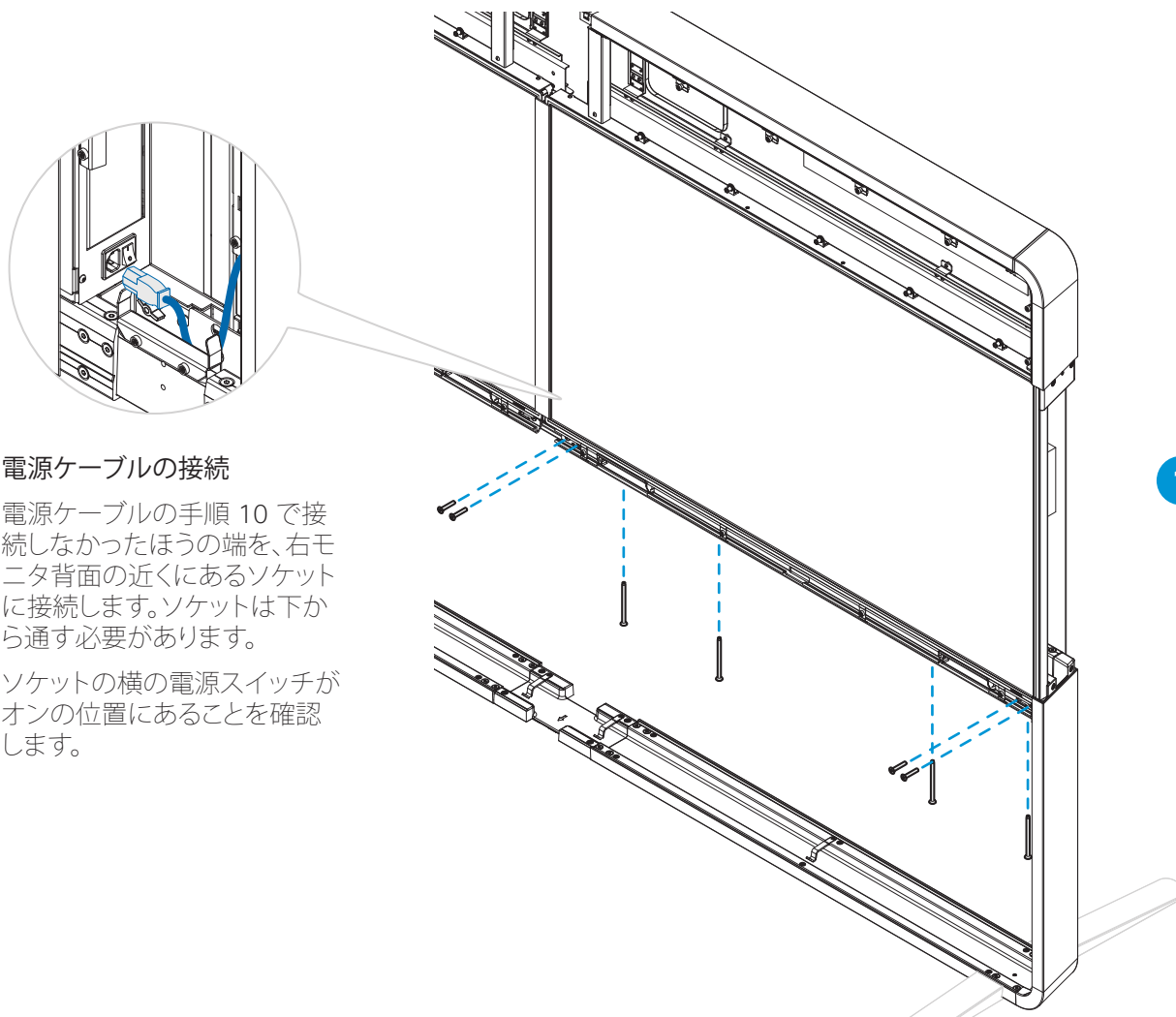
モニタがフロア スタンドにしっかりとハマるまで、モニタから手を離さないでください。



- 2** 両側の蝶ナットを締めます。この作業はモニタの側面から行います。

## 9

## 右モニタのフロア スタンドへの固定と電源ケーブルの接続

**2** 電源ケーブルの接続

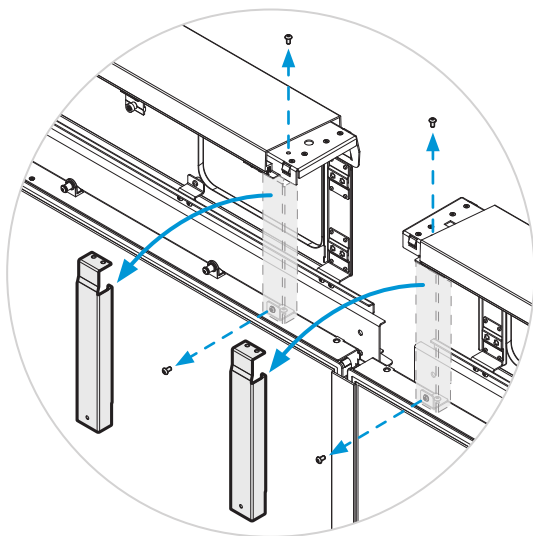
電源ケーブルの手順 10 で接続しなかったほうの端を、右モニタ背面の近くにあるソケットに接続します。ソケットは下から通す必要があります。

ソケットの横の電源スイッチがオンの位置にあることを確認します。

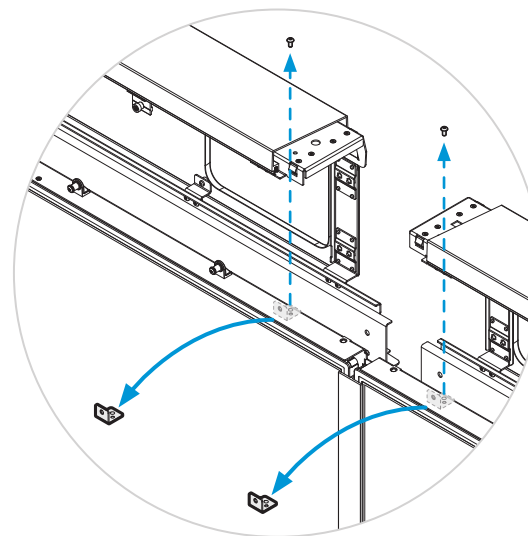
**1** 前面から 4 本のネジ、下から 4 本のネジを挿入します。次に、すべてのネジを締めます。

# 10

## 支持ハンドルの取り外し



**1** ネジ (4 x M4x8) を緩めて支持ハンドルを取り外します。



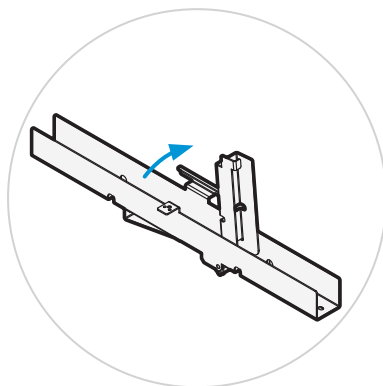
**2** ネジ (2 X M4x8) を緩めて支持ハンドルが固定されていたブラケットを取り外します。

## 11

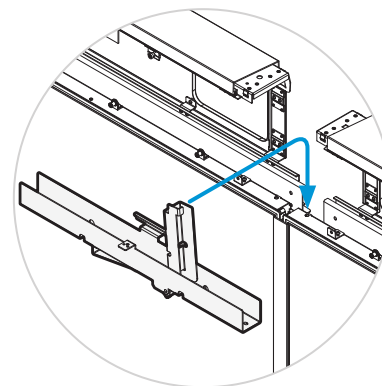
## 連結ブラケットの取り付け



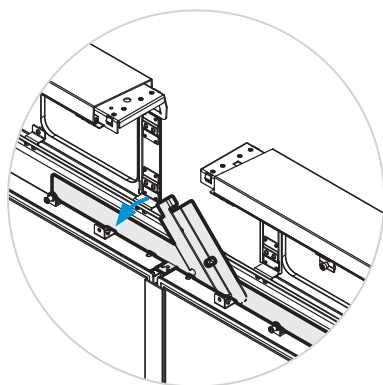
ボックス E はボックス C の下に配置されています。



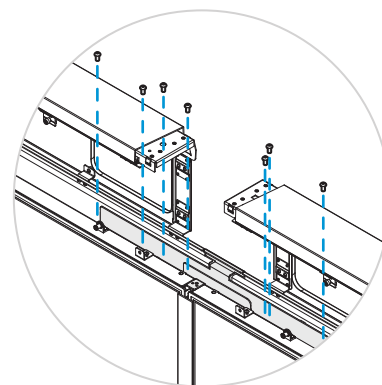
1 レバーを起こします。



2 溝に連結ブラケットを配置します。ブラケットと溝の上端が揃っていることを確認します。



3 レバーを水平な位置まで倒します。



4 7 X  M6x12、なべ



# 12

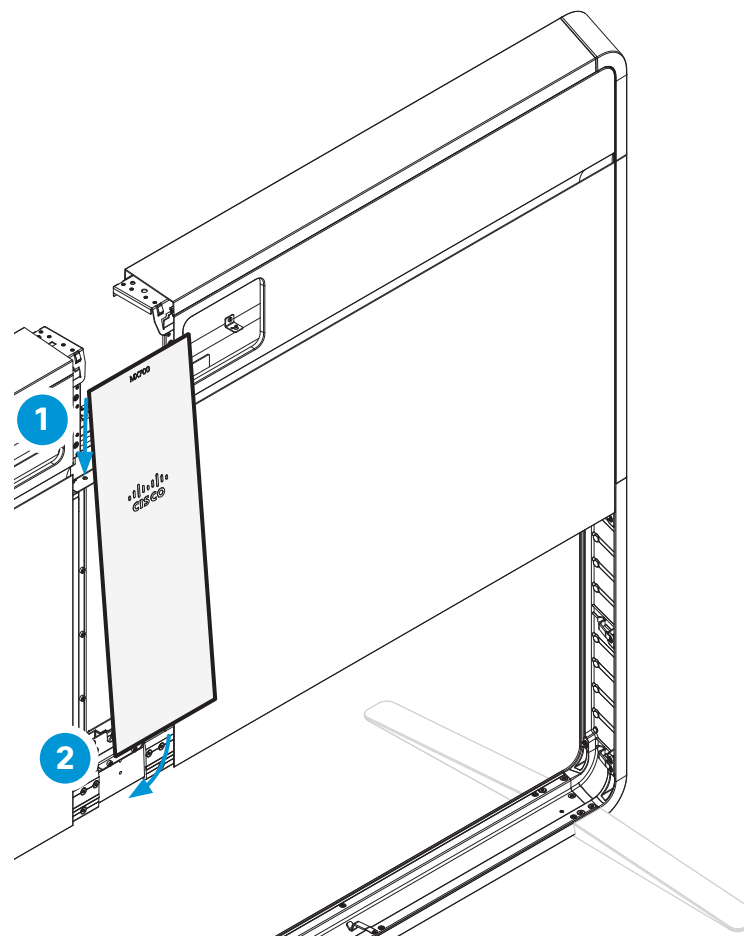
## 背面カバーの取り付け



背面カバーを取り付けます。システムを壁際に設置する場合、背面カバーの取り付けは、上から行う必要があります。

背面カバーのガイドンス ピンを穴に入れます。

背面カバーをシステムの方へと下ろしていきます。カバーはマグネットで留めてあります。



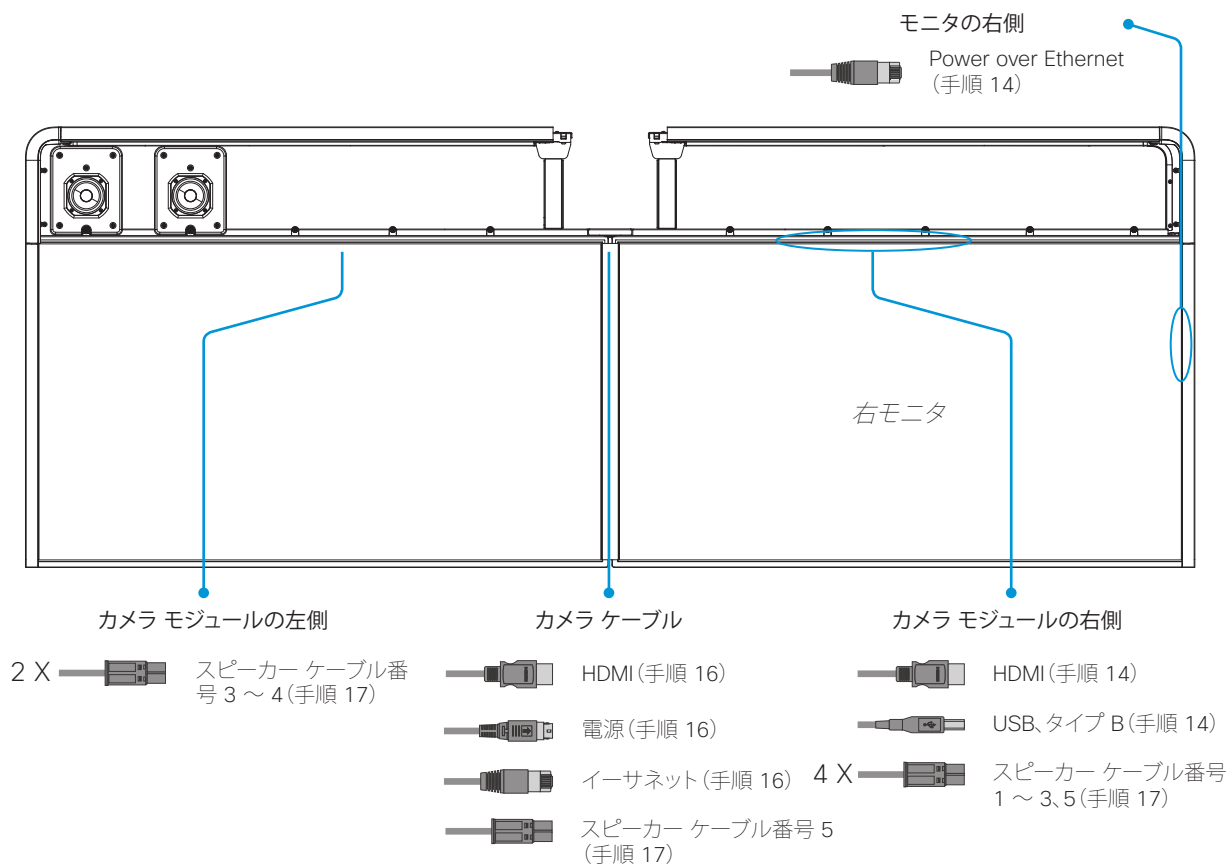
# 13

## 取り付け済みケーブルの整理

モニタの上部のチャンネルに配置されているケーブルを整理します。ケーブルを右に通し、図に示すように配置します。

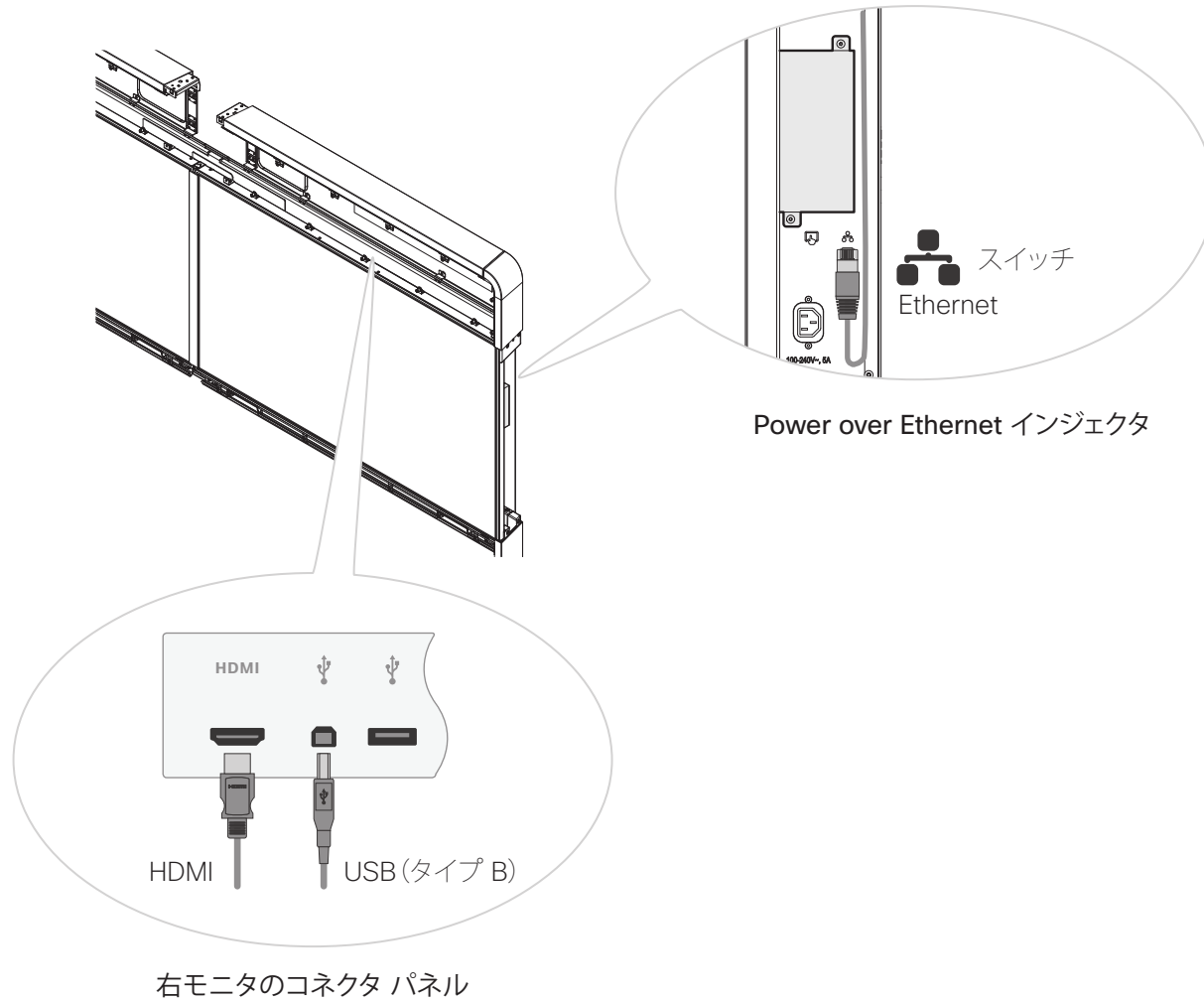
右モニタ上のスピーカー ケーブル 4 は使用されないことに注意してください。

カメラ モジュールは手順 15 で接続し、ケーブルは手順 14、16、および 17 で接続します。



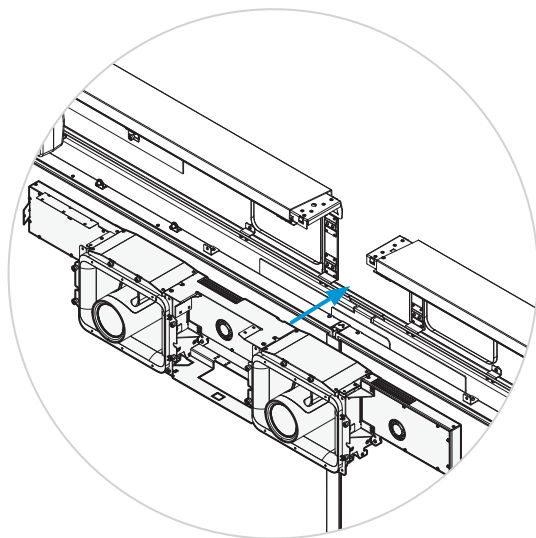
# 14

## 右モニタと PoE インジェクタへのケーブルの接続



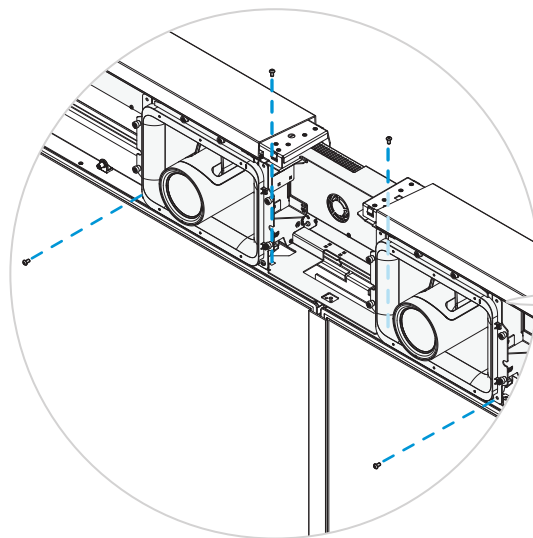
## 15

## カメラ モジュールの取り付け (1/2 ページ)

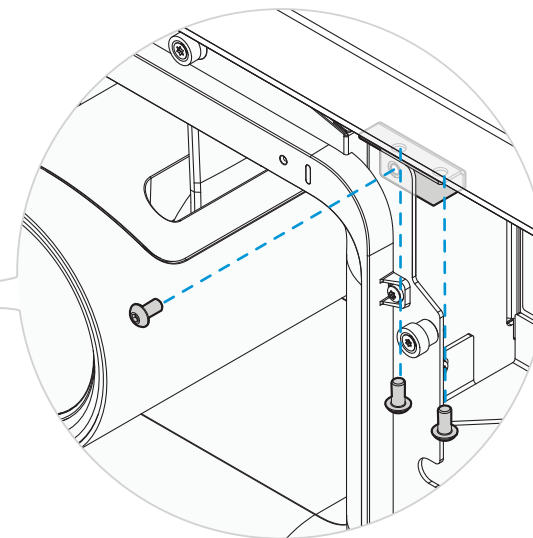


- 1** 左カメラの HDMI ケーブルとスピーカー ケーブル 5 は、カメラ モジュール底板の穴を通して接続できるようにしてください。

カメラ モジュールを挿入するときにケーブルが挟まっていないことを確認します。



- 2** 4 X  M4x8、なべ



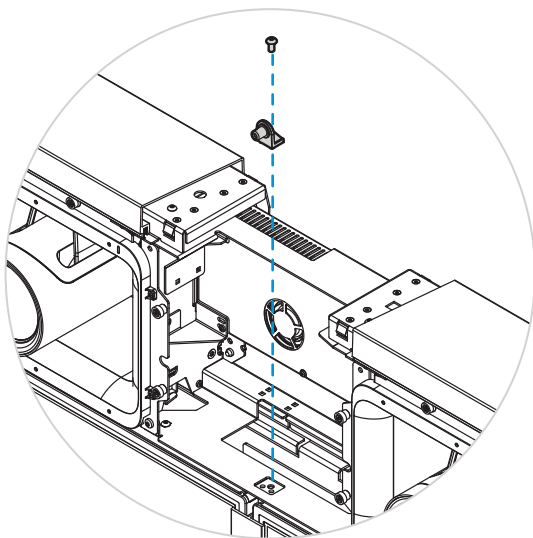
- 3** 3 X  M4x8、なべ

1 本のネジでスタッドを右カメラの右上隅に固定します。左カメラの左上隅に対してこの手順を繰り返します。


2 本のネジを使用して下から上部プロファイルに各スタッドを固定します。

## 15

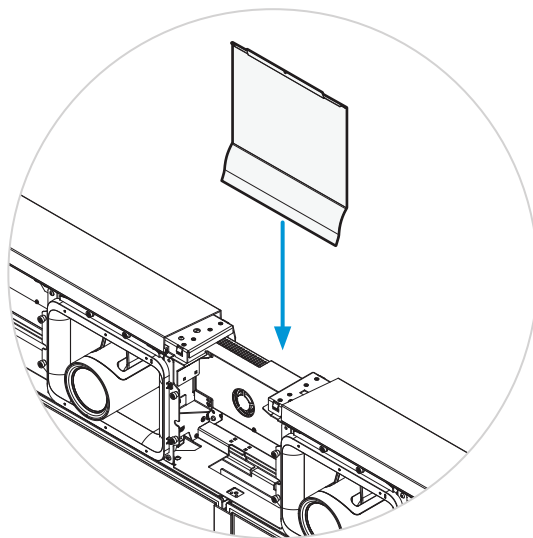
## カメラ モジュールの取り付け (2/2 ページ)



4

1 X  M4x8、なべ1 X  スピーカー クリップ

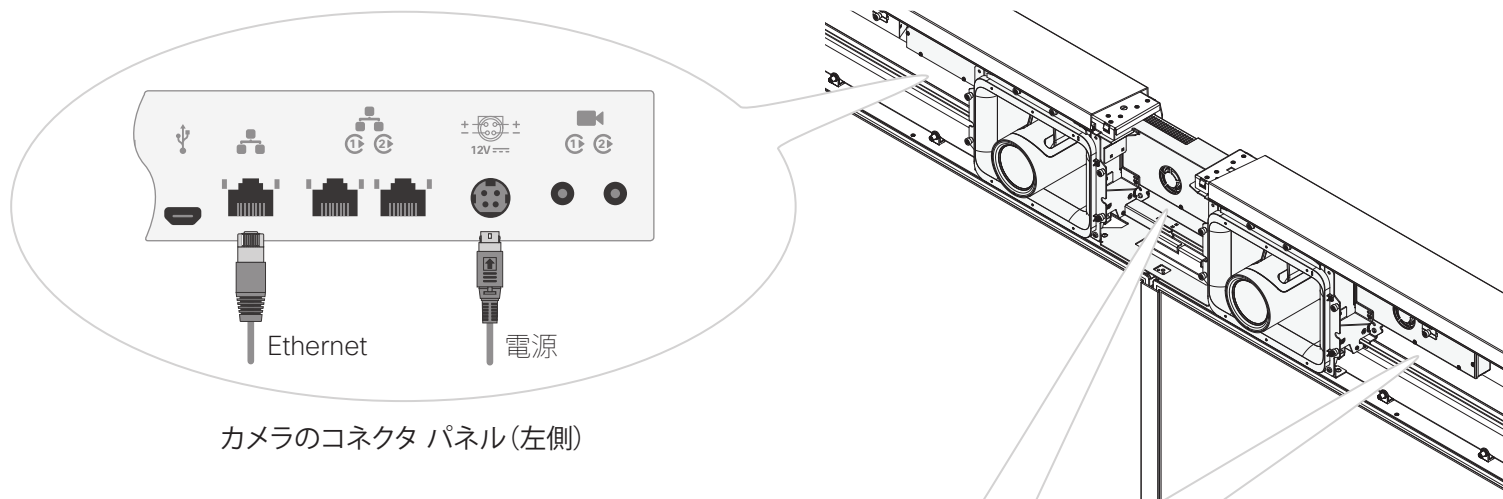
中央スピーカーのスピーカー クリップ  
を固定します。



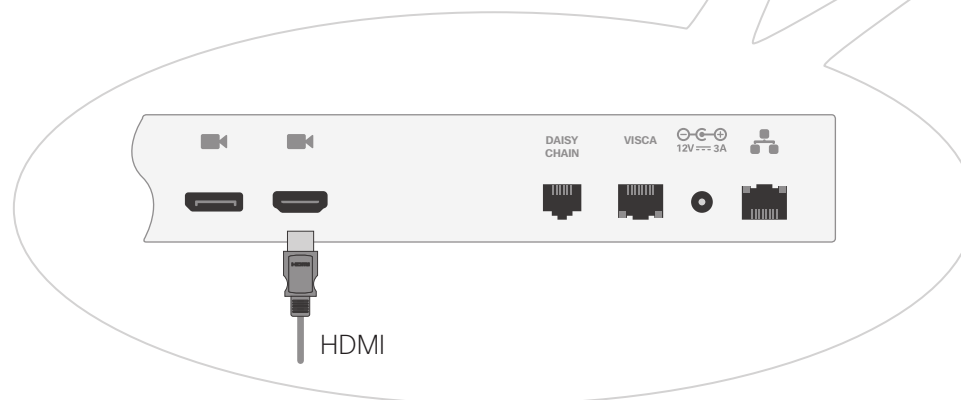
5

カメラ カバーを下側にあるクリップに  
はめ込み、背面パネルと位置を合わせ  
ます。カバーはマグネットで留めてあり  
ます。

# 16 カメラ ケーブルの接続



カメラのコネクタ パネル(左側)



カメラのコネクタ パネル

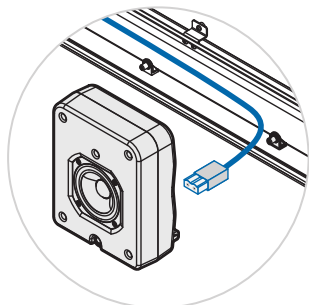
HDMI ケーブルを、1 本は中央に、もう 1 本は右側に接続します。

# 17

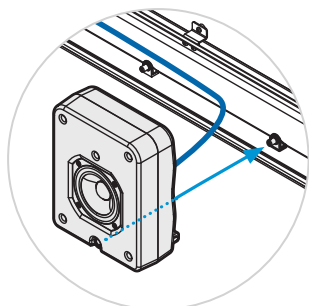
## スピーカーの取り付け



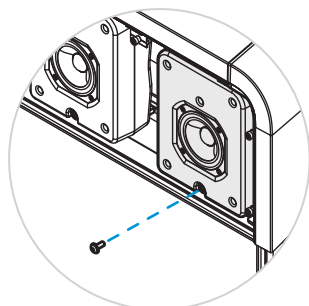
2 台のスピーカーは、あらかじめ取り付けられています。残り 7 台のスピーカーについては、手順 1 ~ 3 に従います。




- 1** 正しい位置がマークされたケーブルをスピーカーに接続します。



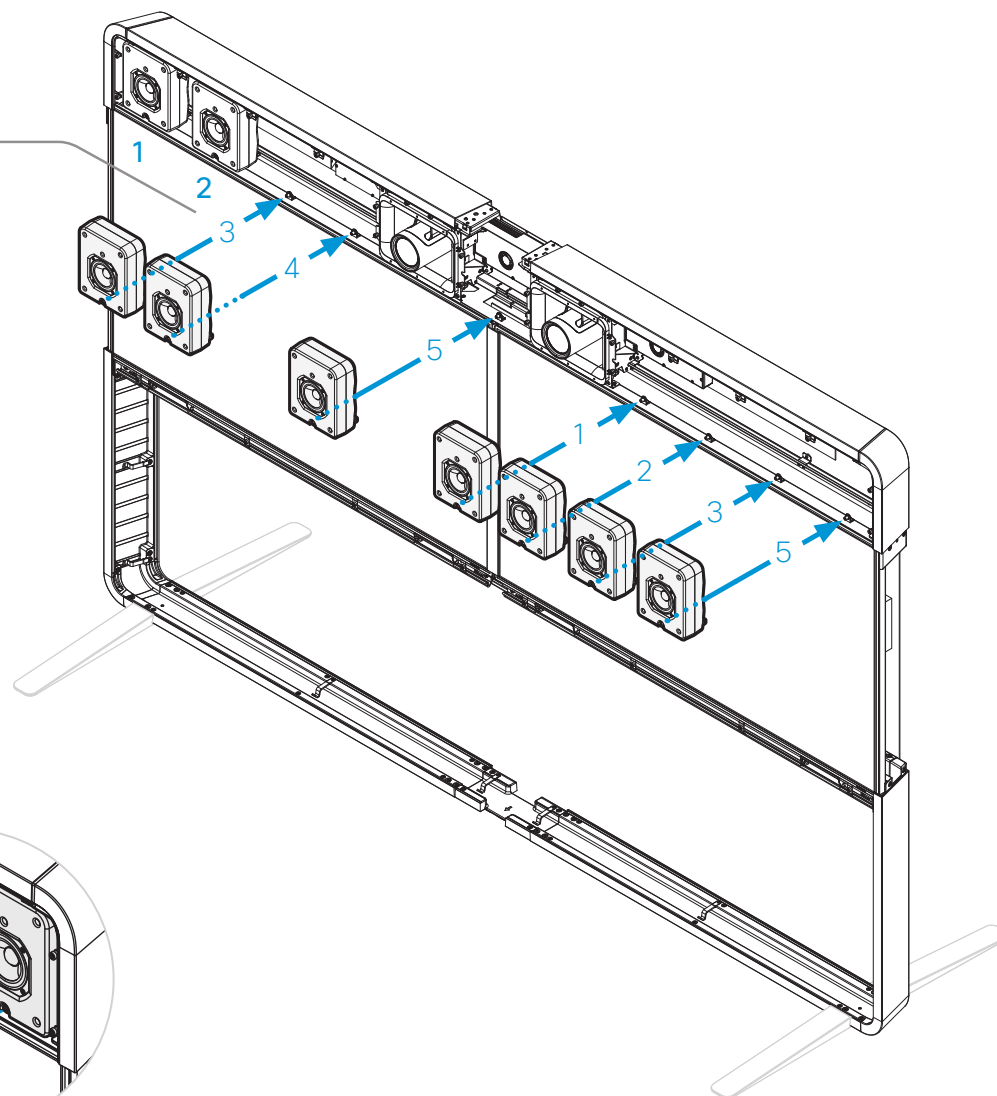
- 2** スピーカーをスピーカー クリップにはめ込みます。ケーブルが挟まっていないことを確認します。



- 3** 1 本のネジで固定します。7 X  PT4x10、なべ (スピーカーごとに 1 本)

スピーカー ケーブルには番号が付いています。これらの番号は、ここで示すスピーカーの位置と一致させる必要があります。

右モニタの上のケーブル 4 は使用しません。



## 18

## 外部ケーブルの接続 (1/2 ページ)



電源に接続する前に、カメラを自由に動かせることを確認します。

マイク  
(最大 8 台)

ネットワーク<sup>1</sup>

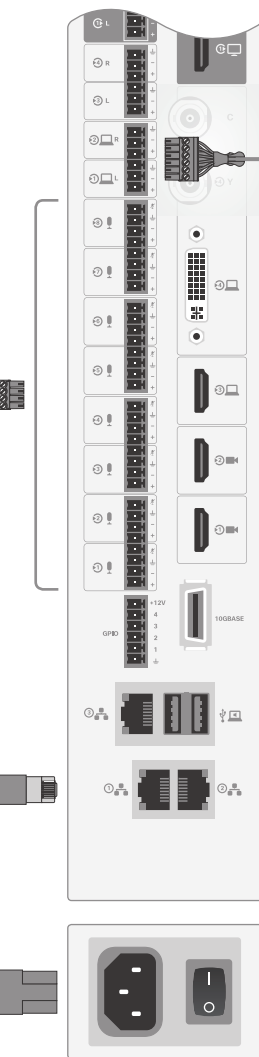


必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。

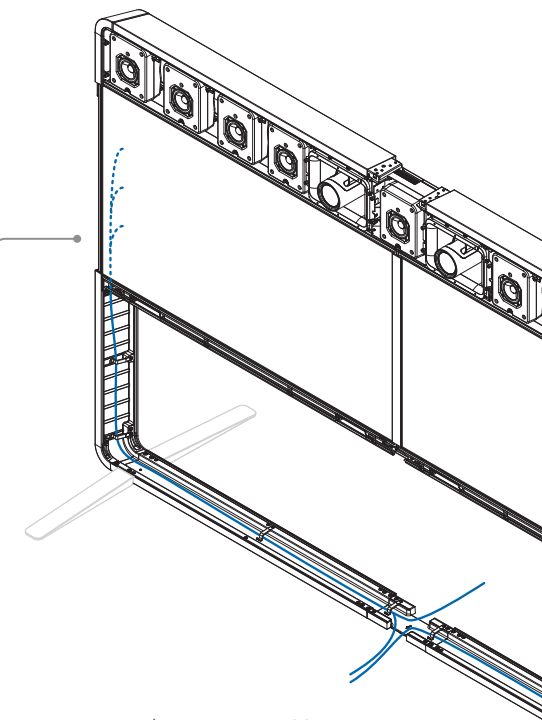


電源 (100 ~ 240 VAC、50/60 Hz)、  
延長コード、および国特有のケーブル



コーデック コネクタ パネル

ビデオ入力  
例: コンピュータ<sup>2</sup>



ケーブルを下に配線し、フロアスタンドのフックの後ろに配置します。

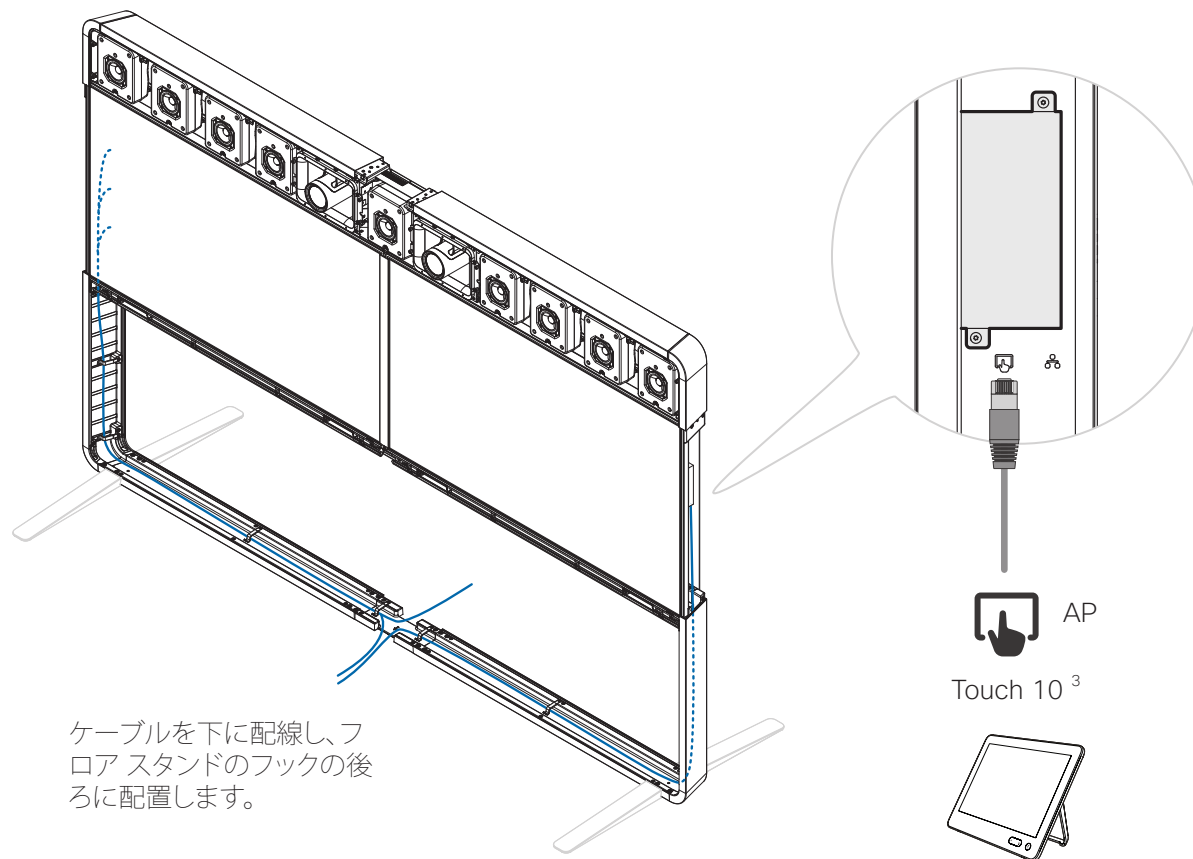
<sup>1</sup> CAT 5e、シールド付きイーサネット ケーブル、5 m。

<sup>2</sup> 表示ケーブルは、HDMI ↔ HDMI および DVI/ユーロブロック ↔ VGA/ミニ ジャックの 2 本が付属。



## 18

## 外部ケーブルの接続 (2/2 ページ)



ケーブルを下に配線し、フロアスタンドのフックの後ろに配置します。

<sup>3</sup> イーサネット ソケットは、Touch 10 の背面のふたの中にあります。付属の PoE 規格 CAT 5e イーサネット ケーブル (12.5 m または 4 m、平型) のいずれかを使用します。

# 19 システムの起動

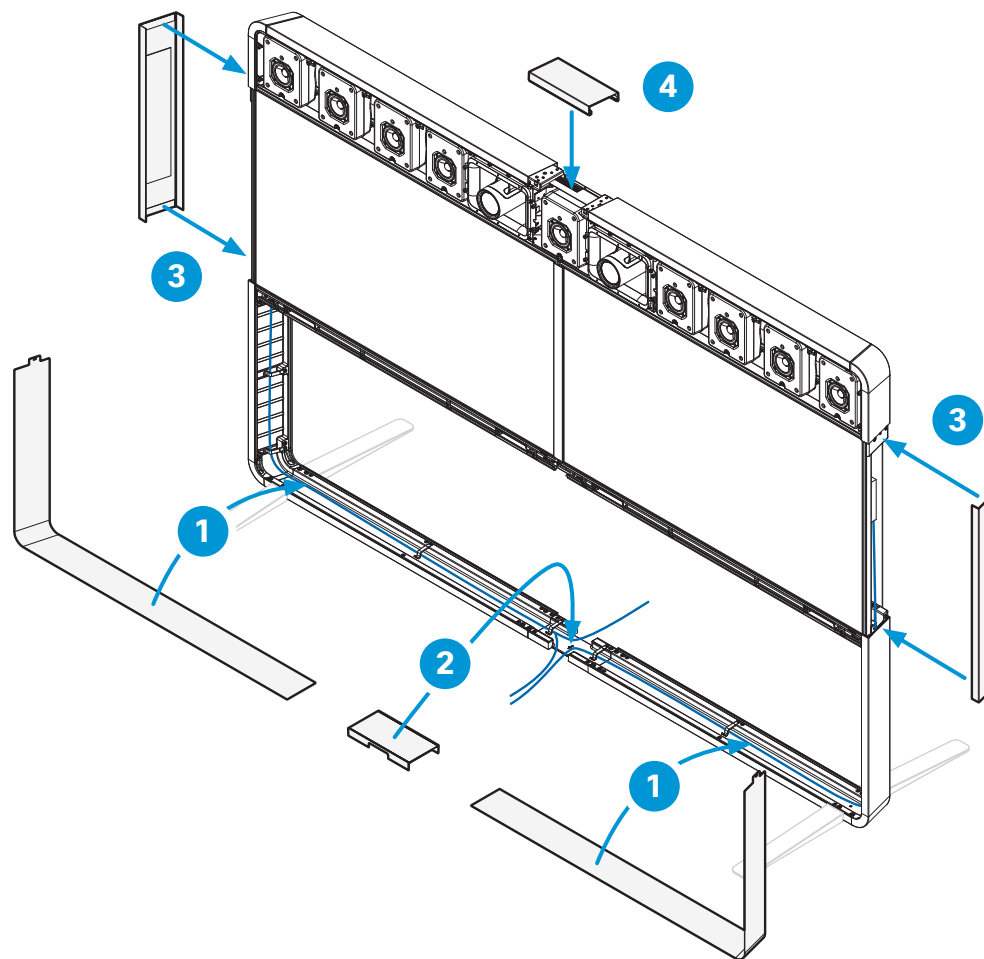
- ディスプレイから保護フィルムをはがします。
- カメラを自由に動かせることを確認します。
- 壁面のコンセントにネットワーク ケーブルと電源ケーブルを差し込みます。
- システムのスイッチを入れます。  
電源スイッチは、コーデックのすぐ下の、電源コネクタの隣にあります。  
システムが起動するまで数分待ちます。この起動時に、Touch 10 とカメラのソフトウェア アップグレードや再起動が自動的に実行されることがあります。
- Touch コントローラの指示に従います。  
Cisco Spark: Spark 登録済みシステムの使用を開始する方法については、<http://help.ciscospark.com> にアクセスして会議室システムの「Getting Started」記事をご覧ください。  
他のサービス: 設定と構成の詳細については、シスコ Web サイト (<http://www.cisco.com/go/mx-docs>) から『Getting Started Guide』をダウンロードしてください。

## 20

## カバーの取り付け



上部カバーはクリップで固定します。  
その他のカバーはマグネットで留まります。



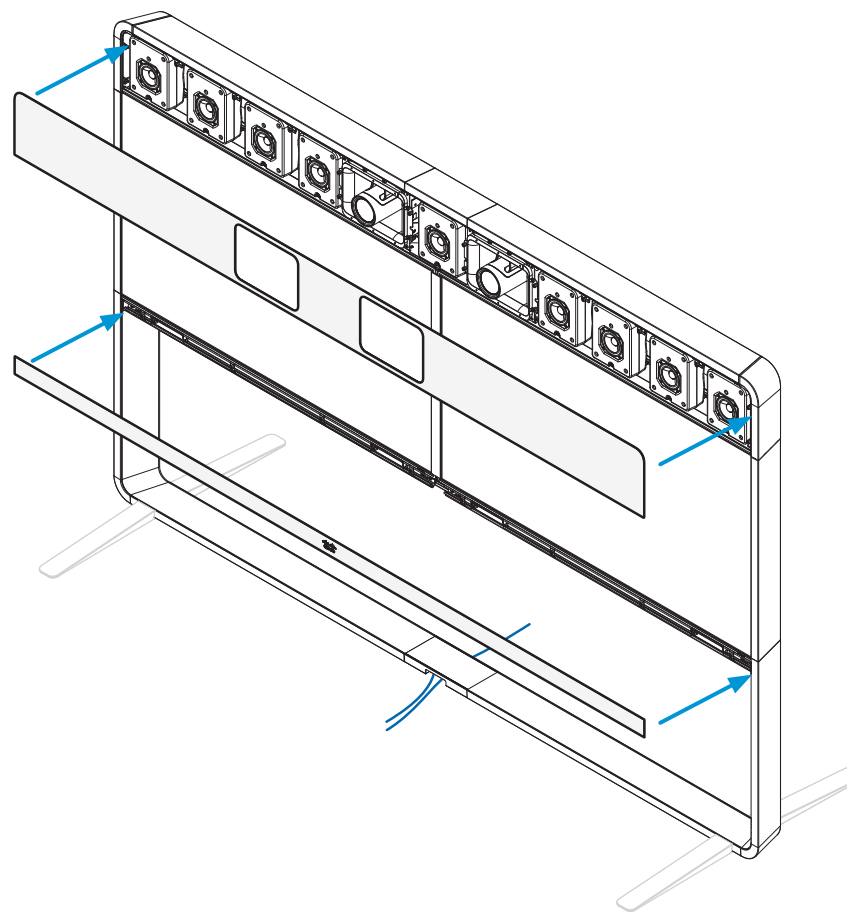
# 21

## 繊維製グリルの取り付け



繊維製グリルを扱うときは付属の手袋を着用してください。

グリルはマグネットで留まります。



オフィスの一覧については、シスコ Web サイト (<http://www.cisco.com/go/offices>) を参照してください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. シスコの商標の一覧については、[www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks) をご覧ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)